

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が4例(80歳代男性3例及び80歳代女性1例)(第43週追加報告分1例含む)ありました。本年の累積報告数は36例となりました。
- ・ 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が1例(80歳代男性)あり、症状は発熱・肺炎・菌血症です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は5例となりました。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(60歳代女性)あり、症状は発熱・咳・全身倦怠感・菌血症です。感染地域は国内で、感染経路は飛沫・飛沫核感染です。本年の累積報告数は62例となりました。
- ・ 梅毒の報告が1例(20歳代男性)あり、症状は初期硬結・鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)です。感染地域は国内で、感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は60例となりました。
○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html
京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。
○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>
- ・ 百日咳の報告が2例(10歳未満男性2例)(第43週追加報告分1例含む)あり、症状は持続する咳などです。2例とも感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は62例となりました。
- ・ 風しん(検査診断例)の報告が2例(30歳代及び40歳代男性)ありました。、共に感染経路は不明です。本年の累積報告数は10例となりました。
- ・ 第44週の京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は0.06(4例)、全国では0.21となっています。

◆ 今週のトピックス:<風しん>

京都市で風しんの報告数が2例(30歳代及び40歳代男性)あり、本年の累積報告数は10例(男性7例及び女性3例)となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 8例(肺結核 4例, 肺外結核 1例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 287例(肺結核 130例, その他結核 69例, 潜在性結核感染者 88例)うち喀痰塗抹陽性 67例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 4例【1月以降の累積報告数 36例】
- ・ 五類:侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 5例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 62例】
- ・ 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 60例】
- ・ 五類:百日咳 2例【1月以降の累積報告数 62例】
- ・ 五類:風しん(検査診断例) 2例【1月以降の累積報告数 10例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.06	4
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.07	175
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.07	46
	③ RSウイルス感染症	0.53	23
	④ 手足口病	0.51	22
	⑤ 突発性発しん	0.44	19
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<風しん>

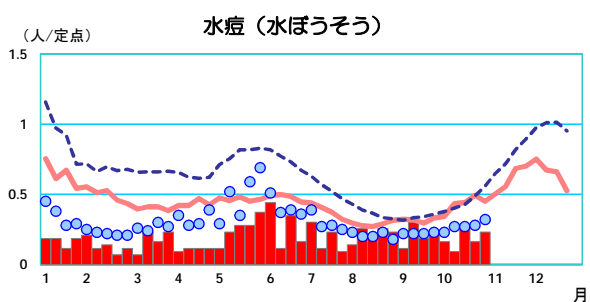
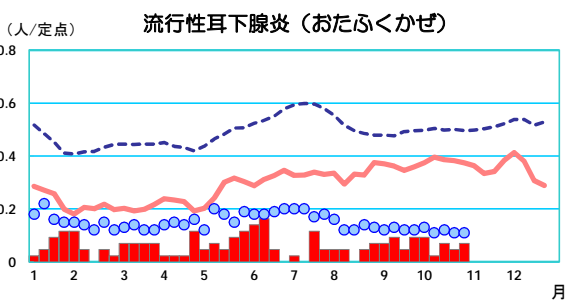
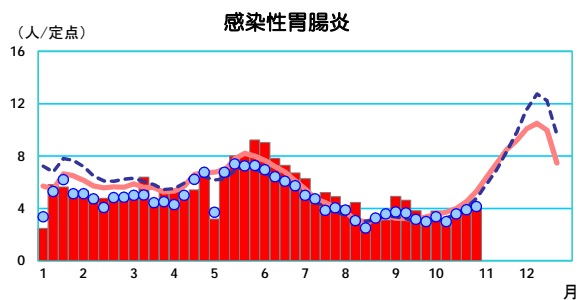
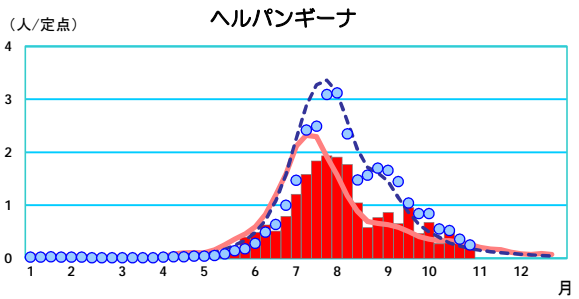
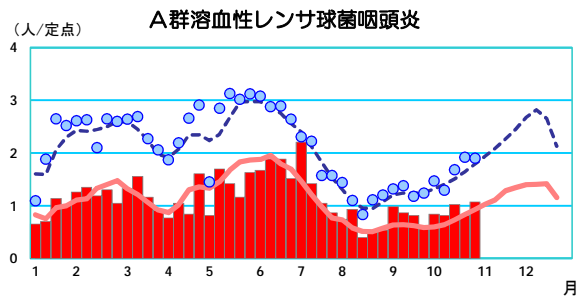
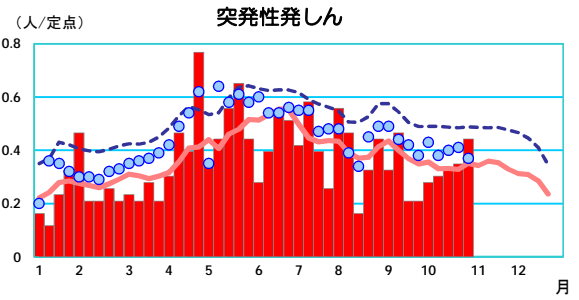
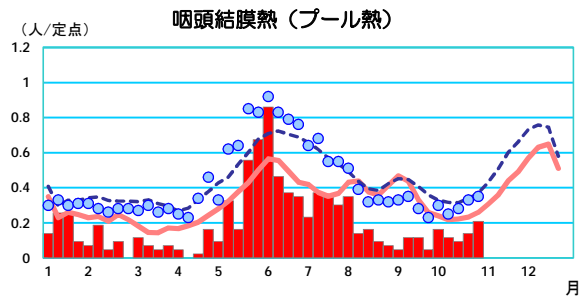
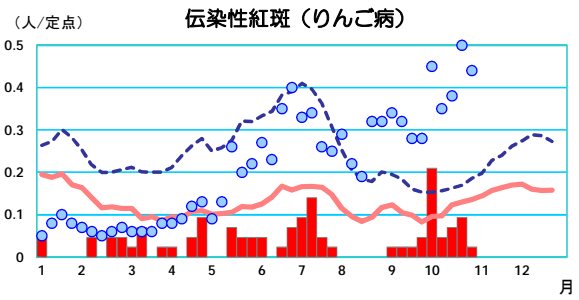
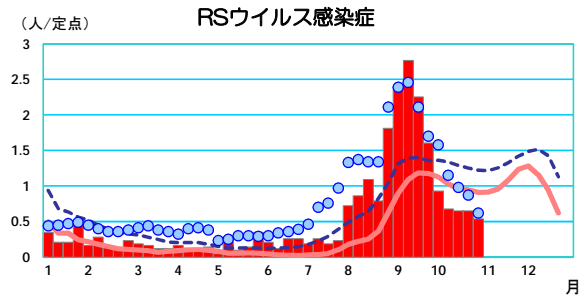
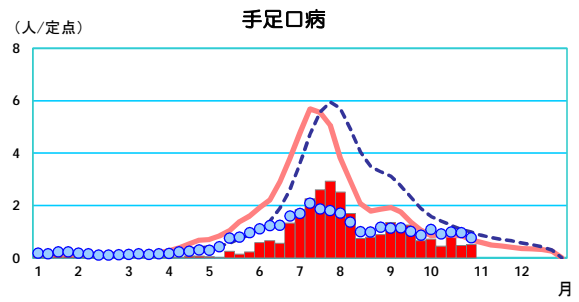
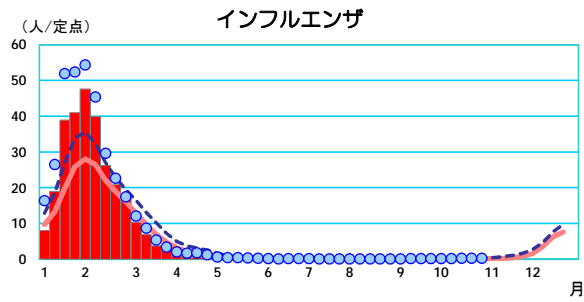
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年11月7日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第44週(10月29日～11月4日)トピックス: <風しん>

京都市で風しんの報告数が2例(30歳代及び40歳代男性)あり、本年の累積報告数は10例(男性7例及び女性3例)となりました。年齢別内訳をみると30～50歳代が多くを占めています(図1)。この年齢層は、特に男性は予防接種制度の経過(表1)により、風しんの抗体を持っている人の割合が低く、今まで報告された10例においてもワクチン接種歴は「無し」(2例)または「不明」(8例)となっています。

風しんの最も恐ろしい点は、風しんに対する免疫が不十分な妊娠初期の女性が感染すると、胎児にも風しんウイルスが感染し、**先天性風しん症候群(CRS)**(※1)児が生まれる可能性があることです。妊娠1ヶ月で感染するとCRS発生率は50%、妊娠2ヶ月で感染すると35%と言われ、平成24～25年にかけての風しん流行の結果、平成24年10月～平成26年1月の間に全国で41名の出生児がCRSと診断されました(※2)。

本年に入ってから関東地方における風しんの届出数が例年と比較して大幅に増加しており、中でも東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県からの累積報告数は100例以上となっています(図2)。さらに、愛知県、大阪府、福岡県でも50例を越えるなど、他の地域でも報告が認められているため、日本全国で風しんに感染する可能性があります。CRSを防ぐ方法の一つとして、妊娠する前に風しんの抗体を獲得していることが挙げられます。京都市では妊娠を希望する女性を対象に、風しん抗体検査の助成及び風しん予防接種の一部公費負担を行っています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「風しん抗体検査の助成・風しん予防接種の一部公費負担を継続します！」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000163145.html>

(※1)心疾患、白内障、難聴、低出生体重、血小板減少性紫斑病などの症状を示す
 (※2)「職場における風しん対策ガイドライン(平成26年3月)」(国立感染症研究所)

図1 京都市の性別及び年齢階級別報告数(平成30年第1週～第44週)

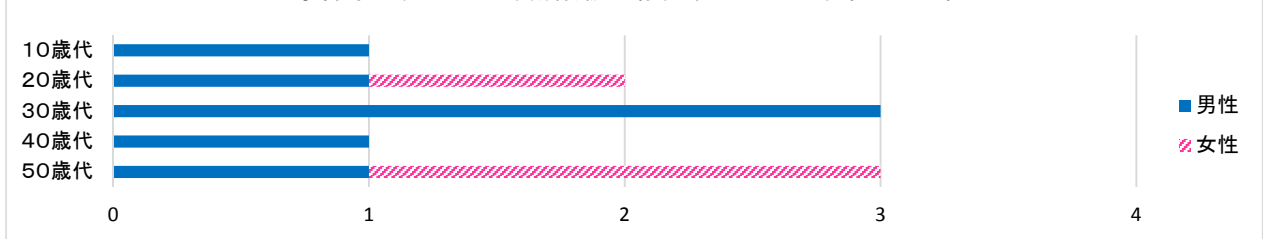
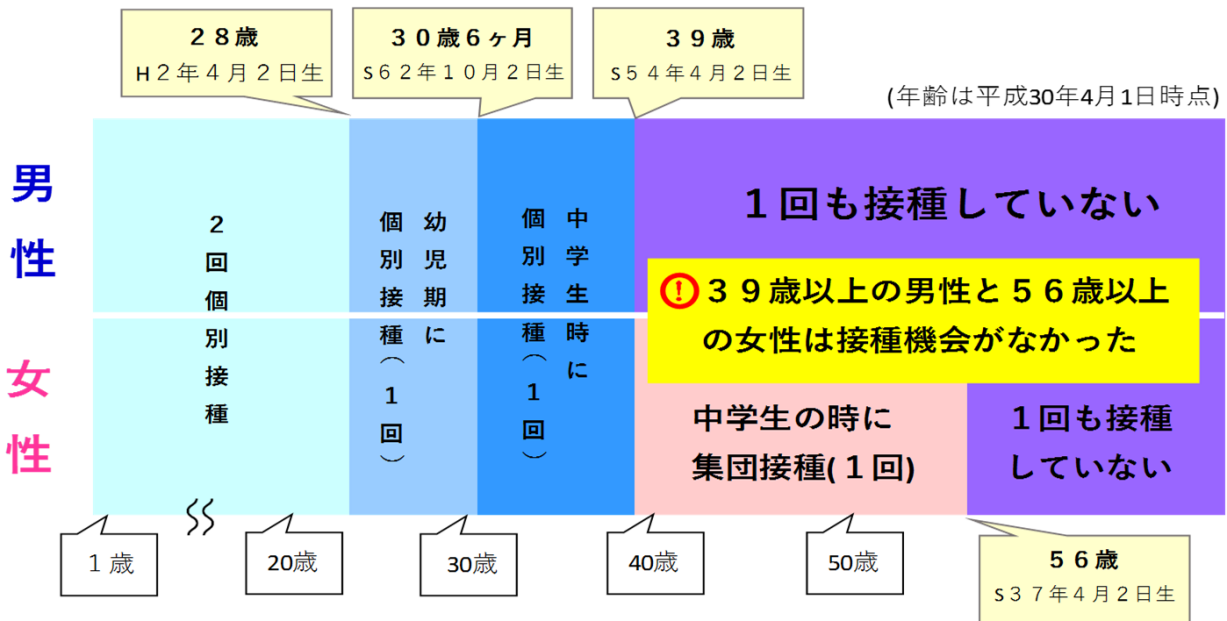
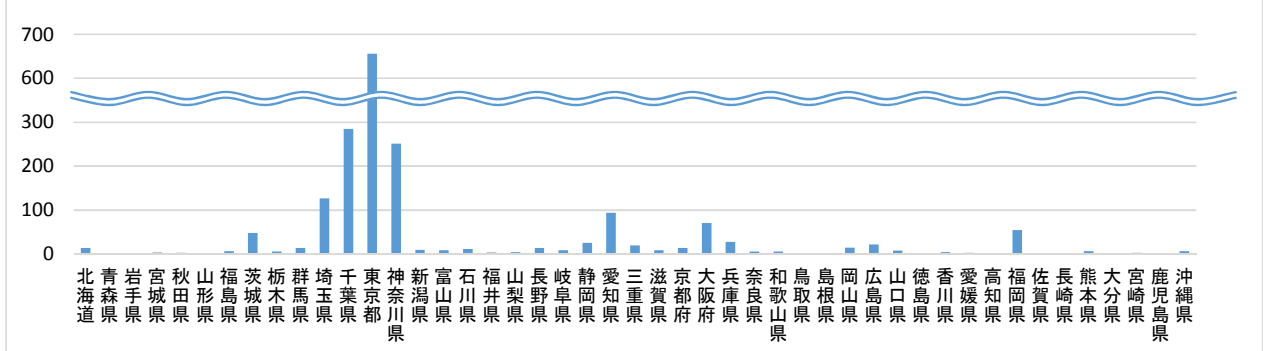


表1 年代別でみる風しんの予防接種制度の変遷



※「職場における風しん対策ガイドライン(平成26年3月)」(国立感染症研究所)を参考に作成

図2 都道府県別の累積報告数(平成30年第1週～44週まで)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第44週

疾病,行政区別報告数

平成30年10月29日～平成30年11月4日

データ入手日:平成30年11月7日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
北	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
上京	1	-	1	-	3	2	2	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-
左京	1	9	-	7	40	1	7	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	3	1	-	6	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1	2	-	2	11	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	1	-	7	-	-	1	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	1	-	2	20	-	3	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	3	3	7	29	2	5	-	3	3	2	-	-	-	-	-	-	-
伏見	1	3	2	12	45	1	4	1	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	1	2	7	17	2	-	-	2	1	-	-	2	-	-	-	-	-
京都市計	4	23	9	46	175	10	22	1	19	8	3	-	6	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	0.50	0.75	-	-	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-
北	-	-	-	0.50	0.75	-	-	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-
上京	0.20	-	0.33	-	1.00	0.67	0.67	-	0.33	0.33	-	-	1.00	-	-	-	-	-
左京	0.14	2.25	-	1.75	10.00	0.25	1.75	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	1.00	0.33	-	2.00	0.67	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.33	1.00	-	1.00	5.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	0.20	-	1.40	-	-	0.20	-	0.80	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	0.33	-	0.67	6.67	-	1.00	-	0.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	0.60	0.60	1.40	5.80	0.40	1.00	-	0.60	0.60	0.40	-	-	-	-	-	-	-
伏見	0.09	0.43	0.29	1.71	6.43	0.14	0.57	0.14	0.57	0.14	0.14	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	0.20	0.40	1.40	3.40	0.40	-	-	0.40	0.20	-	-	2.00	-	-	-	-	-
京都市計	0.06	0.53	0.21	1.07	4.07	0.23	0.51	0.02	0.44	0.19	0.07	-	0.60	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第44週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年10月29日～平成30年11月4日

データ入手日:平成30年11月7日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	23	3	4	8	5	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		9	-	-	4	2	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		46	-	-	1	-	5	4	5	5	6	6	1	5	-	8	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		175	3	14	23	23	18	13	14	15	4	7	7	12	6	16	-	-	-	-	-	-	
水痘		10	-	-	2	1	1	-	1	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		22	-	1	8	7	3	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		19	-	7	7	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		8	-	-	4	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		6	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.06	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-	0.01	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	0.53	0.07	0.09	0.19	0.12	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.21	-	-	0.09	0.05	0.02	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.07	-	-	0.02	-	0.12	0.09	0.12	0.12	0.14	0.14	0.02	0.12	-	0.19	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		4.07	0.07	0.33	0.53	0.53	0.42	0.30	0.33	0.35	0.09	0.16	0.16	0.28	0.14	0.37	-	-	-	-	-	-	
水痘		0.23	-	-	0.05	0.02	0.02	-	0.02	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.51	-	0.02	0.19	0.16	0.07	-	-	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.44	-	0.16	0.16	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.19	-	-	0.09	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.07	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.60	-	-	-	-	-	0.10	0.10	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	0.10	0.10	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第44週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年11月7日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	4	3	2	11	2	4
RSウイルス感染症	69	40	29	28	28	23
咽頭結膜熱	2	7	5	4	6	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	36	35	44	35	46
感染性胃腸炎	143	163	126	167	186	175
水痘	10	7	4	12	7	10
手足口病	28	31	19	42	20	22
伝染性紅斑	2	9	2	3	4	1
突発性発しん	9	12	13	14	15	19
ヘルパンギーナ	20	29	12	21	16	8
流行性耳下腺炎	4	4	1	3	2	3
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	12	13	5	7	8	6
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	327	354	253	356	329	326

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.06	0.04	0.03	0.16	0.03	0.06
RSウイルス感染症	1.60	0.93	0.67	0.65	0.65	0.53
咽頭結膜熱	0.05	0.16	0.12	0.09	0.14	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.56	0.84	0.81	1.02	0.81	1.07
感染性胃腸炎	3.33	3.79	2.93	3.88	4.33	4.07
水痘	0.23	0.16	0.09	0.28	0.16	0.23
手足口病	0.65	0.72	0.44	0.98	0.47	0.51
伝染性紅斑	0.05	0.21	0.05	0.07	0.09	0.02
突発性発しん	0.21	0.28	0.30	0.33	0.35	0.44
ヘルパンギーナ	0.47	0.67	0.28	0.49	0.37	0.19
流行性耳下腺炎	0.09	0.09	0.02	0.07	0.05	0.07
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1.20	1.30	0.50	0.70	0.80	0.60
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	8.49	9.20	6.25	8.72	8.25	8.01

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。